

# 中越地震5周年講演会「新潟地域の地震災害に備える」特集に寄せて

＜宮地 良典<sup>1)</sup>・卜部 厚志<sup>2)</sup>＞

2004年新潟県中越地震が発生してから5年が経過した2009年11月23日に「新潟地域の地震災害に備える」シンポジウム(主催;新潟大学災害復興センター,共催;地質調査総合センター)が,新潟大学駅南キャンパスで行われた.シンポジウムでは,この5年の間に行われた新潟の地質・活断層などの研究成果についての講演会を行った.本特集はこの講演会の内容について取りまとめたものである.



東京大学地震研究所都司嘉宣教授の講演:本講演会では三条地震を中心とした中越地域の歴史地震の講演をしていただいた.三条地震のときに発生した山崩れや家屋の倒壊の歴史記録から三条地震について解説された.



講演会中,新潟平野で掘削されたボーリングコアの剥ぎ取り標本を展示し,平野地下の地層の観察・分析からわかる沖積層の堆積環境と,新潟平野西縁断層帯の活動について解説・議論を行った.参加者は多くはなかつたものの,粒度や葉理・生痕などの堆積構造を観察し,講演と併せて平野地下地質について活発な議論が行われた.

1) 産総研 地質情報研究部門  
2) 新潟大学 災害復興センター